

ご意見	ご意見に対する回答
<p>ExtensionのCanonical Nameが、HL7 FHIR JP Core 実装ガイド<Draft Ver.1>の仕様通りになっていない箇所があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ExtensionのCanonical Nameについては、URIの階層にExtensionをいれる。 • Extension名内にはatを使わず、MedicationRequest_DispenseRequest_InstructionForDispenseのようにアンダースコアで連結する。 • アンダースコアで連結される要素の第1要素は必ずリソース名またはcomplexデータタイプ名とし、そのあとにElement名をアンダースコアで連結し、最後に出現するアンダースコアの直前の要素が、そのExtensionがぶら下がる対象のリソース、データタイプまたはそのElementとなるように記述する。 	<p>JP Coreの記述仕様に合わせて修正します。</p>
<p>例 6 Coverage リソース_保険証情報_記述例で、被保険者証記号・番号が、</p> <pre>"url": http://hl7.jp/eCheckup/StructureDefinition/InsuredPersonSymbol, "valueString": "1 2 3 4 5"</pre> <pre>"url": "http://hl7.jp/eCheckup/StructureDefinition/InsuredPersonNumber", "valueString": "6 7 8 9 0"</pre> <p>のように、ExtensionのCanonical Nameが、JP Coreの記述仕様に従っていないものが残っていますので、修正した方がよい</p>	<p>第1項の通り、JP Coreの記述仕様に合わせて修正します。</p>
<p>データ型について interger decial ⇒ decimal スペルミスでは？</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について uri 断片識別子⇒フラグメント識別子のほうが一般的にわかりやすいと思うがいかがでしょうか？</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について instant 人間の時間用 ⇒ date,dateTimeにある「人間のコミュニケーションで使用される日時」という言い方のほうがわかりやすいのでは。</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について id 「。」⇒「.」ピリオドが自動翻訳によって変換されてしまったのでは？</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について unsignedInt 非負整数型 ⇒ 符号なし整数型のほうが一般的では？</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について uuid GUIDとUUIDの包含関係が逆では（FHIR本家も間違っているように見えます）</p>	<p>ご指摘のように過去には、GUIDはMicrosoft提唱のもので、UUIDのひとつであったようです。一方で現在は事実上は内容は同一となっています。そこで、「（GUIDの一種）」という記述部分を削除することとします。</p>

健康診断結果報告書HL7 FHIR記述仕様

ご意見	ご意見に対する回答
3.1 page9 「この表で示すように」 ⇒ 「この表で示すように」の誤植だと思います。	修正します。
3.1.4 page13 ②国名、郵便番号部、都道府県部、市区郡部、区町村丁字番地等部 ⇒国名だけ部がついていないが大丈夫か？	修正します（部をつけます）。
3.1.4 page15 日本ではポケベルのサービスを廃止されてため、pagerは不要では。	削除します。
3.2.5.2.2. page40 "「様式5号では「IU/L」（国際単位）となっいる」⇒「様式5号では「IU/L」（国際単位）となっている」の誤植では。"	修正します。
page1-2 page1.「退院時サマリー」、page2.「各種サマリ」のように「サマリ（一）」に表記ゆれがある	修正します（規格の表題に合わせ長音をつけます）。
表28 受診者ID 3.1.4. 受診者情報の受信者IDの説明に本方式の説明の使い道の説明を入れるべきである。	表28の説明に3.1.4と同様の記述を追加します。「3.1.4 受診者IDの説明のとおり、健診実施機関受診者整理ID、所属機関受診者IDなど複数のIDの記述必要な場合、医療機関等の識別ができるようそれぞれのidentifier要素で記述する。」
表28 判定区分判定区分（人間ドック学会2003）～判定区分コードタイプD 説明にコードは表26によるを入れる。（特にタイプA～Dに対してはCDA規格で作成されたので必要）	「コードは、表26の各欄に対応するコードを使用する。」を追加します。
表28 受診者追加情報種別コード 説明に種別コードは、1000勤務先、1010事業場を追加する。	「1000:勤務先、1010:事業場」を追加します。